

## 海賊対処の第43次派遣部隊が無事任務を終え帰港する

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第43次隊）帰国行事の様 ～

第43次派遣海賊対処水上部隊がソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、昨年9月18日に日本を発って以来、約7か月ぶりとなる2023年4月5日に佐世保（長崎県）に帰港した。

同隊は、第8護衛隊司令（飯ヶ谷孝広 1等海佐）を指揮官とし、岩森雄飛艦長が指揮を執る護衛艦「すずつき」であり、森口雅之隊長以下8名の海上保安官を含む約200名を超える乗員が事故無く任務を遂行し、無事帰国した。

派遣期間中は、ソマリア・アデン湾において2回の直接護衛を実施したほか、海域を分担して警戒するゾーンディフェンスで多くの商船の安全を確認した。

これに加え、中東地域における関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動も行っている。

本艦は厳しい感染症対策を実施し、派遣中に1名の感染者も出すことが無かった。

艦上行事では、飯ヶ谷司令から帰国の報告の後、西成人佐世保地方総監が「常に高い緊張感を維持し隊員一丸となって海賊対処行動に臨んだ。日本国民の生活の大動脈を守り、関係船に一度も海賊被害が生じなかった事を頼もしく思い、感謝する。諸君は国の宝だ。」との浜田靖一防衛大臣訓辞を代読した。

また、齋藤聡自衛艦隊司令官が「昨年は必ずや任務を遂行すると思い見送った。海上保安庁と連携し、大いに貢献した。今次派遣はコロナ感染症対策が依然として予断を許さないなかでの困難な任務であった。」と訓示したのち、「派遣中の隊員を本国から支えたご家族、ご友人にも感謝申し上げます。」と、風雨の為に人数制限された艦上式典に臨席出来ない300名もの隊員関係者が視聴する別会場への配慮を見せた。

当協会からは友田圭司副会長、川崎汽船（株）遠藤英明安全品質管理グループ長らが参加した。

友田副会長は「日本商船隊を守ってくださり、ありがとうございました。皆様、永らくの活動お疲れさまでした。」と半年以上におよぶ任務に謝意を伝えた。

本艦には池田会長が2月にジブチで訪問し、隊員に対して当活動に対する感謝の意を直接伝えている。

（海務部 事務局）

帰国行事



雨天のなかで無事着岸した「すずつき」



岩森雄飛艦長（左）と報告する飯ヶ谷孝広司令（右）



防衛大臣訓辞を代読する西成人佐世保地方総監



訓示を与える齋藤聡自衛艦隊司令官



感謝の言葉を伝える友田圭司副会長





森口隊長、飯ヶ谷司令、岩森艦長、友田副会長